

2016年10月 発行 第24巻

# 運動学習研究会報告集

第24回  
運動学習研究会 編

Annual Report of the Japanese Motor Learning Seminar  
Vol. 24(Mar. 2016)

JMLS

## 目次

1対1突破課題における勝敗の決定要因	
筒井和詩・工藤和俊（東京大学大学院）	2
共同動作における調整ストラテジー	
向井香瑛（愛知教育大学大学院）	9
ジャグリング課題の適応過程	
山本耕太・工藤和俊（東京大学大学院）	14
ばらつきが見えると運動は変わるか？	
太田啓示・工藤和俊（東京大学大学院）	23
二者間から二集団間攻防へ拡張する理論モデルの構築	
藤井慶輔（名古屋大学 日本学術振興会）	30
視覚の制約が片麻痺者の立ち上がり動作の力制御に及ぼす影響	
一片麻痺者の定型的運動パターンから残存機能をより多く活用した新しい運動の形成へー	
倉松由子（東北大学医学系研究科肢体不自由学分野）	42
集団ダイナミクス：スポーツ集団の社会的ネットワーク	
山本裕二（名古屋大学）・木島章文（山梨大学）・五十嵐祐（名古屋大学）・横山慶子（名古屋大学）	46
2選手間の相互関係の検討 ー相互循環因果関係の適用ー	
荒木雅信・山本真史（大阪体育大学）	49
編集後記	55